

上福岡教会 CS こひつじ科 - 中高生科

2022年3月13日

2022年度年間テーマ：「イエス様の祈り『主の祈り』によって、祈ることを身につけよう」

テーマ曲： ワワワいっしょに (CS讃美歌92番)

暗唱聖句：「信仰とは、望んでいる事柄を確信し、見えない事実を確認することです。」 ヘブライ人への手紙 11章1節

動画ファイルへのリンク：

<https://drive.google.com/file/d/1BCK8AzCOyj1RX1AZ8V376gcyQBwfvXKQ/view?usp=sharing>

賛美：「かみさまは」（KFC 子供さんびか 5 番：下を参照）

おいのり（今日も生かされていることを感謝し、主の守りと導きを祈ろう。）

おはなし「HC#75~80 主の晩餐・聖餐式について」スパーリンク 宣教師

みなさん、こんにちは！CS の中高生科によろこそおいでくださいました。以前もそうだったように、今日もハイデルベルク信仰問答書を学び続けます。今回は問 75 番を見て、主の晩餐・聖餐式について私たちの信仰を確認したいと思います。主の晩餐についての問答が実際に多いのです。6 つもありますね。なぜかという、宗教改革が起こった時代に、聖餐式についての誤解もたくさんあり、迷信っぽい理解もあったからです。でも、今回は問 75 だけ読んで、私たちにとって最も大切なことについて学んでみましょう。長い文書ですが頑張りましょう。

イエス・キリストの聖晩餐について

問 75

あなたは聖晩餐において、十字架でのキリストの唯一の犠牲とそのすべての益にあずかっていることを、どのように思い起こしましたか。また確信させられるのですか。次のようにです。

答

キリストは御自身を記念するため、

この裂かれたパンから食べ

この杯から飲むようにと、

わたしとすべての信徒にお命じになりましたが、

その時こう約束なさいました。

第一に、この方の体が確かにわたしのために

十字架上でささげられ、また引き裂かれ、

その血がわたしのために流された、ということ。

それは、主のパンがわたしのために裂かれ、

杯がわたしのために分け与えられるのを、

わたしが目の当たりにしているのと同様に確実である、

ということ。

第二に、この方御自身が、

その十字架につけられた体と流された血とをもって、

確かに永遠の命へとわたしの魂を養い

また潤してくださる、ということ。

それは、キリストの体と血との

確かなしるしとしてわたしに与えられた、

主のパンと杯とを

わたしが奉仕者の手から受け

また実際に食べるのと同様に確実である、

ということ。

「救いは信仰のみによるのだ」。HCの第2部においてずうっとこのテーマで学んできました。そして今考えているのは、では、救われるために必要なこのような信仰は一体どこからくるのですか。問65の問題です。その答えは、「聖霊が福音の説教と聖礼典を通してこれを心に起こして確かにする」とあります。福音のお話を読んだり聞いたりする私たちの心のうちに聖霊なる神様は信仰を起こしてください。聖書を読んで、神様のみ言葉として受け入れさせていただく限り、その信仰を養い育ててくださいます。さらに、「聖礼典」、すなわち、イエス様が定めて下しました洗礼と聖餐式によってその信仰をますます確信へと強めてくださいます。

信仰を長老たちの前に、また、教会の皆の前に表明して、いわゆる「陪餐会員」となっているならば、主の晩餐とも言われる聖餐式に常に参加しているはずですが、けれども、まだ、そこまで進んでいなくても、聖餐式の様子を教会で何回も見てください。聖餐式は制定の聖書箇所、短い説明と勧告（式辞）、（次の方々が参加されるようにという）招きの言葉、パンとぶどう汁の聖別の祈り、パンとぶどう汁の杯を配ってイエス様の食べよと飲めよとの言葉を聞かされながらこれらをちゃんといただくこと、そして、感謝の祈り、という順序が普通ですね。今日のHC75の問答はこの礼典の中で最も中心的な内容と目的を語っています。イエス様のご配慮によってご自身の罪を贖うまた償う十字架の犠牲をより深く信仰の目で見ることが出来ます。パンとぶどう汁がイエス様の十字架につけられた体と流された血を示すものであり、これらを見るからです。けれども見るだけではありません。実際に手に渡されたこれらを食べて飲むのです。見ていただくその時に、聖霊が心のうちに、「イエス様の大きな犠牲がこの私のためになされて、私はイエス様に愛されている、救われている主の民です」と、信仰が一層強められます。感謝にあふれます。「そうだ、これが救いの道だったのだ」と改めて思われるわけです。イエス様が再び来られる時までこの礼典を継続しなさいと主に言われているのですから、頭を上げて主の来臨を待ち望むように、天に思いをよせるようにもなります。

聖餐式によって与えられる思いと恵みが多く、ここで全てを話すわけにはいきません。けれども、最後にもう一つ大切なことを確認しましょう。信仰告白がまだなされていない方に特に気づいてほしいことです。聖餐式のパンとぶどう汁をまだ受け取れないから救いから漏れているのだと、寂しい思いがありませんように！イエス様の十字架につけられた体、流された血のしるしがあり、これらを見ることだけでも、救いの道を確認することができます。いよいよ自分も積極的に信仰告白に進んで行こうとの思いが起こされます。これも聖霊による恵みの働きかけです。このように思われる時に、主イエス様の救いの技が私の心に起こっているのだと、多いに励まされるに違いありません。ですから、洗礼をまだ受けていない方々は早く受けるように励み、教会で育って幼児洗礼を受けている若い方々はいよいよ信仰を公に言い表すように準備して信仰告白式に進み、聖餐式を見るだけでなく、パンとぶどう汁をいただく恵みに与るようになります。

その時、パンを食べ、杯を飲むことによって、その物質がお腹に入り、肉体を養うのと同じようにまた確実に、聖霊の働きによって、イエス様の十字架につけられた体と流された血が信じるあなたの魂を永遠の命を持つ身であることを信じ

させて、イエス様に結ばれている実感を与えてくださいます。是非早めに参加の資格を得ることができますように、信仰告白を目指しましょう！

今回のお話はここまでです。では、お祈りしましょう。

父、子、聖霊なるお一人の生ける全能の神様、今日は、聖餐式の礼典について学びました。イエス様が私たちの信仰を強めるために備えてくださいました。昔、エジプトで奴隷になっていたイスラエルな民に、過越祭の羊を屠って食べ、その血を門柱に塗り、罪が贖われたものであることを滅ぼすみ使いが確認して、定まった災害から守られました。それよりもはるかに恐ろしい罪の裁きと永遠の刑罰から、イエス様が「世の罪を取り除く羊」となって、その犠牲となってくださいました。福音の約束を信じることによってその体を示すしを食べるように、また、流された血を示すしを飲むようにとお命じになりました。主のみ技によって私たちに究極的な救いが備われたことを示し、私たちがご自身の救われた民である確信へと信仰を強めてくださいます。聖餐式が執り行われるたびにこれらのことを思い起こすことができますように。また、これほどまでに私たちを愛してくださった主の大きな愛があることを味わって、平安な心を持つように、しっかりした歩みができるように、お励ましてください。今日の学びを感謝して、イエス様のみ名によってお祈り致します。アーメン

(けんきん) 今日も神様に捧げる献金をとっておいて、教会で再びお会いするときにささげましょう。2階の机にこひつじ科の献金箱が設置されましたので、用いましょう。

賛美：「わたしたちのつみのため」(KFC 子供さんびか 27 番：下を参照)

お祈り：黙祷(今日のCSの学びを感謝して、これからイエス様の恵みによっていつまでも生かされることを感謝する。)

5 かみさまは

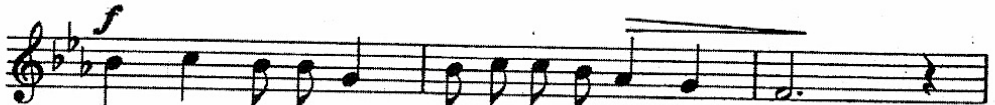
由木 康 作詞 1966

小山章三 作曲
1966

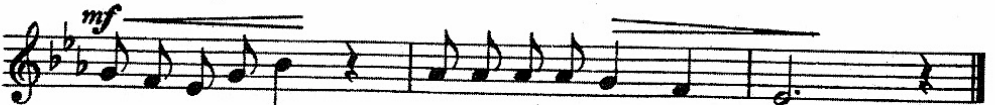
すなおに ♩=96



1. かみさまは そのひとりごを
2. かみのこを しんじるものが



よのなかに くださったほど
あたらしい いのちをうけて



よのひとを あいされまし た
いつまでも いきるため だ す

(補)

1. 神^{かみ}さまは そのひとり子^こを
世^よのなかに くださったほど
世^よの人^{ひと}を 愛^{あい}されました



2. 神^{かみ}の子^こを 信^{しん}じるものが
あたらしい いのちをうけて
いつまでも 生^いきるためです

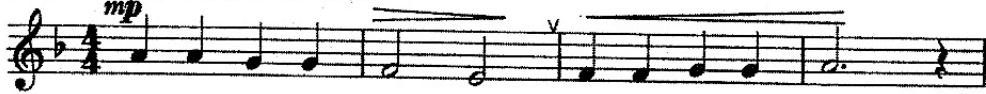
27 わたしたちの つみのため

原作者不詳

花房 泉一 訳詞 1966

フィリッツ 作曲

かんしゃをこめて ♩=96



1. わ た し た ち の つ み の た め
 2. わ た し た ち を い ま も な お
 3. わ た し た ち に み ひ か り を



- じゅうじ かに かか った しゅ い え す さ ま
 おま も り く だ さ る しゅ い え す さ ま
 あ た え て く だ さ い しゅ い え す さ ま

(音 難)

1. わたしたちの 罪のため

じゅうじか にかか った しゅ い え す さ ま
 十字架にかかった 主イエスさま

2. わたしたちを いまもなお

おまもりくださる 主イエスさま

3. わたしたちに み光を

あたえてください 主イエスさま